

講演番号記入用
に4cmあける。

2種類の tRNA をアミノアシル化する非区別型の AspRS の X線解析

○東工大太郎、大岡山次郎
(東工大院理工)

(約70%に縮小されます)

区別型の AspRS はアスパラギン酸を厳密に認識して、Asp-AMP を生成し、次に $tRNA^{Asp}$ と結合して、その CCA 末端にアスパラギン酸をアイル化する酵素である。ある種の生物では、2種類の tRNA ($tRNA^{Asp}$ と $tRNA^{Asn}$) の両方のアンチコドンを確認する非区別型の AspRS が使われている。その

.
.
.
講演要旨の見本 (原寸)
.
.

上下左右、余白を2.5cm
あけて下さい。本文の
2段の間隔は1cmあけて
下さい。

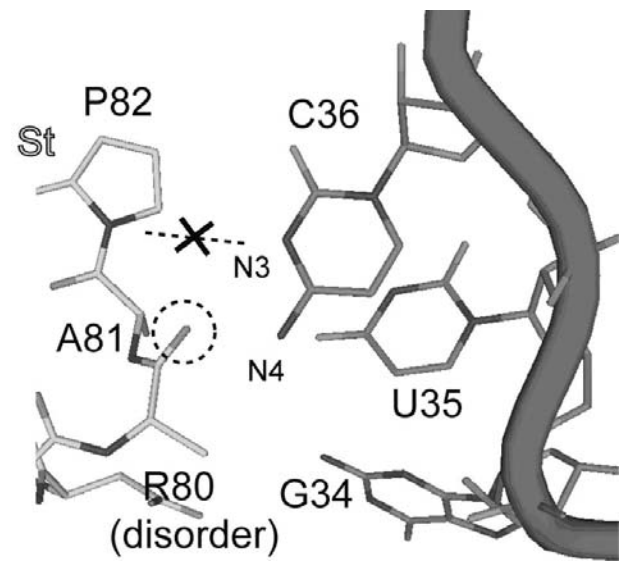


図1. 非区別型 AspRS のアンチコドン結合部位.